

心理学実験レポート ルーブリック

評価項目	5	4	3	2	1
レポートの基本的構成	フォントサイズや種別、文章レイアウト等まで含め、実験レポートの体裁として完成されている。	章構成の正確さに加えて、見出し等の表現方法が適切に出来ている	基本的な5つの章構成で正しく書かれている。	章構成の幾つかが明示されていない。	心理学実験レポートに求められている基本的な章構成になっていない。
目的に関する記述	目的に関する十分な理論的説明に加え、目的に沿った仮説(作業仮説を含む)を明確に記述できている。	単なる転記ではなく、実験目的を明確にするための補足的説明が加えられている。	教科書に書かれてある目的を、概ね間違いなく記述できている。	記述が省略されすぎていて、目的の説明として不十分である。	書かれている内容が当該実験の目的を説明するものとして意味を成していない。
方法に関する記述	被験者、用いた刺激や質問紙、実験手順、等について追試可能なレベルで表記されている。	単なる転記ではなく、実験手順等の補足的説明が付け加えられている。	教科書に書かれてある方法を、概ね間違いなく記述できている。	触れられていない(記入漏れの)方法がある。	方法に関する記述が無い。
結果に関する記述	結果が実験レポートの流れとして適切に組み立てられており、考察にスムーズに繋がっている。	結果のみの記述でなく、読み手の理解を促進する説明が付け加えられている。	実験で行った結果について、記述が必要なものを網羅できている。	触れられていない(記入漏れの)結果がある。	結果に関する記述が無い。
図表の表記方法	タイトル、図表種類の選択、伝わりやすい作図作表表現、図表に対する正確なコメント、等全て適切に出来ている。	単に自動的に作図作表させたものではなく、伝わり易さを意識した配慮や工夫が成されている。	タイトルや凡例といった、図表を構成する各要素について、概ね不足なく書かれている。	タイトルや図表に対するコメントが部分的に書かれていない。	図表が用いられていない。
統計処理等に関する記述	統計的記述について完全に理解して表記できている。	部分的に誤った内容が含まれてはいるものの、統計分析等の結果について概ね記述できている。	平均や分散といった、基本的な統計情報については正確に記述できている。	平均や分散といった、基本的な統計情報について書かれているが、内容に誤りがある。	統計情報等に関する記述が一切無い。
考察に関する記述	実験結果に対する解釈について、他の研究にもあたりつつ総合的に述べられている。	実験結果に対する解釈について、ある程度客観的な推論が出来ている。	自らの主観的な推論に留まってはいるが、実験結果に対する解釈が概ねできている。	結果を単に繰り返し書いてあるだけである。	単なる感想に留まっている。
文献に関する記述	レポート内での引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考を分けた表記方法、等が全て適切である。	文献の表記方法は完全ではないが、レポートに含まれる文献を不足なく記述できている。	引用・参考の別について理解不十分な点はあるが、文献としての体裁が整えられている。	文献は書かれているが、表記方法を正しく理解できていない。	引用・参考文献が書かれていない。